

nicochanism

ニコチャニズム

重い病気や障がいがある人の
こころゆたかな毎日のために

06

2019
08.01

認定NPO法人
ニコちゃんの会

ニコちゃんの会の活動を

ほどいて

むすびなおす

長津 結一郎

九州大学大学院芸術工学研究院 助教

宮本 聡

九州大学大学院人間環境学研究院 助教

森山 淳子

認定NPO法人ニコちゃんの会 代表理事

山田 賢祐

認定NPO法人ニコちゃんの会



TALK SESSION

ニコちゃんの会の活動を ほどいて むすびなおす

わたしたちはこれまで「心豊かに人生を生き抜く」をテーマに多分野での活動を行ってきました。わたしたちのこれまでの活動を研究者に考察してもらおうと、いったいどういう言葉になるのか？絡み合いながらも多くの可能性を生んできたこれまでの活動を今一度ほどこき、それらの意味を紐解き、結びなおすという試みです。



宮本 聡 (みやもとさとし)

九州大学大学院人間環境学研究院 助教。障がいのある人々の創作表現活動を通じた「生」の接続を研究主題に、アートと日常的なケアの現場に参与を行っている。2017年、九州大学大学院人間環境学府単位取得退学。修士（感性学）。専門は教育人類学。



長津 結一郎 (ながつゆういちろう)

九州大学大学院芸術工学研究院 助教。アート・マネジメント、文化政策学、芸術社会学などをベースとし、障がいのある人などの多様な背景を持つ人々の表現活動に着目した研究を行なう。著書に『舞台の上の障害者：境界から生まれる表現』（九州大学出版会、2018年）。



山田 賢祐 (やまだけんすけ)

認定NPO法人ニコちゃんの会事務局長。学生の時に障がいのある人に出会い、福祉を素敵にしたいをモットーに団体のデザイン全般を担当。NPO法人ニコちゃんの会設立からかかわっている。



森山 淳子 (もりやまじゅんこ)

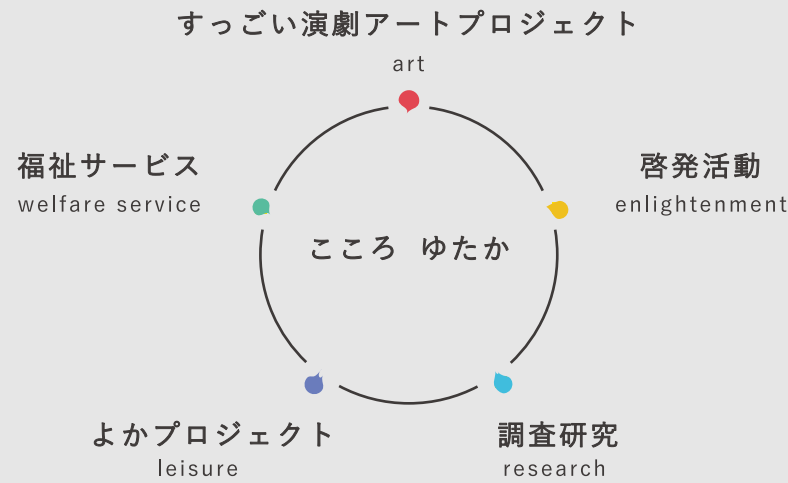
認定NPO法人ニコちゃんの会 代表理事。障がいのある子の親の会「ニコちゃん通信の会」（1992～）、障がいのある人の余暇活動団体「お遊び助っ人企画（1996～）」の活動を経て、「NPO法人ニコちゃんの会（2012～）」を設立。

contents.

talk session	ニコちゃんの会の活動をほどいてむすびなおす	… 02
	走れ！メロス。創作の過程	… 10
	ニコゼミ 2018 受講生が感じたこと	… 13
	nicocafe	… 15
	今期の活動計画	… 16
	前年度にやったこと -2018年度（第7期）事業一覧-	… 17
	ご支援のお願い	… 21

PHOTO 2018/5/20 ニコゼミ 2018 セッション0 春のデイキャンプに潜入！

ニコちゃんの会の5つの事業

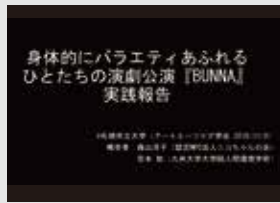


調査研究

福祉制度の提言や演劇等の企画のモデル化を目的としてリサーチ、学会発表等を行っている。



福岡市共働事業提案制度
おうちで暮らそうプロジェクト
(2013~2015)



アートミーツケア学会2016年度大会
(2016)

よかプロジェクト

障がいのある人や家族が参加し、楽しむことを目的として、お祭りやクリスマス等の季節の行事を企画化している。



ニコフェス
(2018~)



ニコサンタ
(2012~)

福祉サービス

障がいのある人の暮らしとかかわりを持ち、基盤となる日常を整えるお手伝いをするを目的としている。



すっごい演劇アートプロジェクト

障がいのある人にかかせる演劇創作、俳優講座、裏方講座、また身体表現ワークショップ等を展開している。



身体的にバラエティあふれる
ひとたちの演劇公演 BUNNA
(2017)



少しずつ自由になるために
(2010~)

啓発活動

障がいのある人とない人が知り合うきっかけづくりを主な目的として展示イベント、ゼミ等を企画している。その他に依頼に応じて講演等も行っている。



ニコゼミ2016,2018
(2016~)



イッタモンガチ展
(2015)

「すっごい演劇 アートプロジェクト」をほどこ

山田 今回は、ニコちゃんの会の活動を振り返るために「ほどこてむすびなおす」というテーマでお話を聞かせてもらいたいと思います。これまでやってきたことがどんな痕跡を残していたのか、それらがこれからどういうことにつながっていくのかを言語化しながら紐解いて、整理していきたいと思っています。

宮本 先ず、「ほどこてむすびなおす」というテーマには2つの意味があると思います。1つ目は、もともと親の会の流れの中で生まれて続いていたニコちゃんの方に、新しいメンバーが入ってくる時に、どうつないでいくのかという意味合い。2つ目に、今の社会とどう結んでいくのかというような思いがあつてのテーマだという印象でした。

長津 ニコちゃんの会も7年過ぎて、そういう局面に来たんですね。

山田 **すっごい演劇アートプロジェクト**、**啓発、よかプロジェクト**、**調査研究**、**福祉サービスの5つの事業**があるんですが、どこから始めますか？

長津 アートの分野から行きますか？

宮本 すっごい演劇アートプロジェクトは、僕がニコちゃんとお会いしてからになったもので、長津さんも演劇からでしたよね。では、先ずこの事業について聞かせてください。



リョウちゃん

森山 この事業は演劇だけじゃなくて身体表現ワークショップとかもやっていて、表現する、感じとることに着目した活動です。もともとは**リョウちゃん(娘)**と芝居できたらいいなって思ってたところが原点です。リョウちゃんももういないわけだけど、障がいのある人との演劇を**倉品(俳優・演出家)**ニコちゃんの会で**実施する演劇を演出**に相談したら、倉品はいきなり障がいのある人とやるのは厳しいと言いつつ、「私ね、ちょっと歳の離れたお姉さんたちと演劇やってるよ」と言われて、「おい」を障がいの1つと捉えてみようっていうところから、1作目の「よろぼし」をやったのよ。

山田 長津さんと出会ったのはその時ですか？

長津 「お遊び助っ人企画」(森山が主催していたボランティア団体:1996)という謎の団体だったんですよ(笑)。東京で「よろぼし」をやるときに、たまたま制作を手伝ったのが2008年でした。

山田 ウンちゃん(森山のこと)がアートに着手したのはそれが初めてっていう

わけではなかったよね？

森山 「すっごい演劇アートプロジェクト」って呼び始めたのは法人化した時で、それまでは「お遊び助っ人企画」の「すっごい演劇プロジェクト」って言ったね。それと、もともとずっとさかのぼると「ニコちゃん通信の会」(前身の障がいのある人の親の団体:1992)ってあった団体いうんだけど、それとは別に「お遊び助っ人企画」を始めて、芸術的なこともやりたいよね、呼吸器とかが付いたら演奏会にも行けないしねってことで、プロの演奏家の人を呼んでチャリティーコンサートをやったりしてたよ。でもずっと障がいのある人たちとの演劇を、という思いがあつて、倉品に相談して「よろぼし」をやることになったのよ。最初からずっと変わってないことがあるとすれば、私がリョウちゃんと芝居をやりたいなって思った時に、「この子が話さなくても舞台にいるだけでエネルギーがあるってこと」。

山田 それって言い方が悪いんだけど、我が子だから、ということではなくて？

森山 リョウちゃんだけにそう感じるわけではないってこと。彼らが種を持っていてること。どんなそれを磨いて舞台が作られていく。プロの俳優さんでもその種を持つてる人と持つ



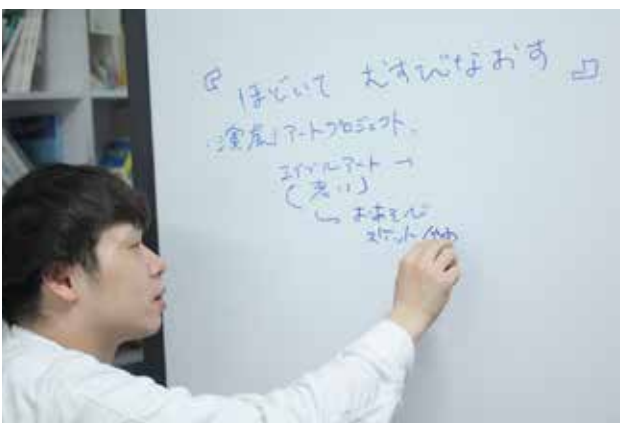
BUNNA (2016)



走れ!メロス。(2018)

ていない人がいるわけよ。舞台に出てきて長台詞が5分続いて眠たくなる俳優さんもいれば、出てくるだけでその場の雰囲気が変わる人もいる。そういうこととて言えば彼らは、出てくるだけで空気を替えることができる種を持っている。そういうことをリョウちゃんが持っているから、思ってた、それは今でも変わらない。

長津 話さなくても舞台にいただけでエネルギーがあるって言うことが言われるのはなぜかっていう話なんだけど、舞台上ってある意味、身体に障がいがある人がいるはずがないと思われている場所だからだと思うんですね。バシッとした役者さんとか技術さんとかしかないと思われているんだけど、観る側にとってはそうではない人がいることで感じられるエネルギーがあるんじゃないかなと思うんです。そのあと法人化した身体的にバラエティあふれるひとたちの演劇公演という名で「BUNNA」(走れ!メロス)の2作品を公演されましたが、そういうことを考えさせられる演出が多かった。確かにリョウちゃん



と芝居をしたって言うている事がつな
がっているような気がして、すごいこと
だと思わせられます。

森山 ただ、倉品みたいにそういう種に
水とか肥料を与えて、花を咲かせてく
れる人がもつと必要だと思ふのよ。自分
たちだけで芝居を作る以外に、もつと
広いところで考えないといけないこと
ろにきてるんじゃないかなと思う。

長津 僕はたまたま演劇からニコちゃ
んの会のことを知って、演劇をやるこ
とをモチベーションにしてやっている団
体なのだろうと思ってました。でも、実
際には他にも多くの事業があつて、その
中で演劇をどう位置付けていくのか、と
いうことを考えなくてはならない状況
にきているんじゃないかな。

森山 私の中では、やっぱり「どんなに重
い病気や障がいがあつても心豊かに人
生を生き抜く」というテーマがあつて。
福祉サービスでは家での日常にかかわ
っていて、演劇とかの非日常的な部分も
両方あつて、人の生活であるわけやな
い？その中に嬉しかったり、怒ったり、悲
しかったり、楽しかったりすることもた
くさんある。心の豊かさをどういう風
にして育んでいくのかって思つたら、社
会を変えていかないといけないし、本人
も変わらないといけないし、どうしよ
もない部分を支える人たちも必要だ
し、そこに芸術も必要だと思つて、こ
うなつてるんだよね。

壁にどれだけ大きな窓をどれだけたく
さん作れるかって大事なことだと思つ
てます。

宮本 きっかけを作るっていう意味合い
の啓発ですよ。

森山 そうそう。

山田 ただ小中学校が違つて接点があ
つただけで、出会つてみると普通に相
性だけの問題だと思つたりします。それ
は障がいとか関係ないですよ。

森山 もつたないよね。出会つた経験と
か(障がいのある子を)育てた経験とか
を、自分たちの良い経験として持つて
るから、他の人たちにも体感してほしい
のがシンプルなところなのかもね。

長津 前回の展示イベントを見に行きま
したけど、何のイベントなのかよくわか
らないわけじゃないですか。

森山 そこがいいんじゃない(笑)。

長津 いや、そこが面白いところだなと
思つて。それって複数のかかわり方があ
るってことだと思ふんですよ。例えば
前回の「あそびく」とかだと、大学生が
受講生として参加することもできる
し、障がいのあるお子さんが家族で来れ
たりするし。なんだかわからないけど、
これっていいなって思わせるんですよ。
ね。だからこそさつき山田さんがデザイ
ンは窓って言ったことが僕の中でしゅ
りきて、だからこそわざわざ町の中心
でやるんだろなあ。入つてもいいよつ
ていうデザインをちゃんとやる。で、入
つてからの中もきちんと意味不明なデザ

「啓発活動」をほどこ

宮本 次に啓発活動っていうのがあ
るんですけど、これ具体的にどうい
う事でしょうか？

森山 実は啓発活動の最たる
ものは演劇なのかなって思
てるんだけど(笑)。

長津 でも位置づけとしては
違うんじゃない？

森山 違いますね。演劇は作り
上げた作品が結果的に啓発
活動になっているという感じ。
観客が初めて初め舞台になる
から、それがたまたま啓発に
なつていくというだけで、啓
発するために演劇をしている
わけではないから。

長津 では、啓発活動って言
てるものはどんなものなん
ですか？

森山 展示イベントをやつて
じゃない？あれつてめっちゃお金かか
るのに**わざわざ福岡市の中心部**でやるの
は、全然接点が無い人たちにもかか
るきっかけを作るためなんよね。次の日
から実は毎日すれ違つていた車椅子の
人に気が付くようになったとか。そんな
小さなことの積み重ねが大事だと思
ふよね。まあでも啓発って言つても余暇
活動っぽいことも含まれるやん？

山田 それぞれの事業が絡みあつて

インをやる。**意味不明なことをわざと
担保している**のかなあと思ひました。

森山 わからないからこそ「んっ？」
なるんやろ。帰る時に絶対何かがあ
らつてるんやね。その人つて。

長津 やっぱデザインってモノだけ作
つてもダメなんですよ。いろいろ試行錯
誤を経た上でのこれまでだと思ふん
ですけど、プロジェクトデザイン的な意味
でのデザインは成功してるんですか？

山田 啓発の成功を判断するのつて難
しいですよ。今回の話をしたいと思つた
きっかけも、ニコちゃんのかかわりのス
タイルを世の中に伝えていきたいって
思つてるんだけど、その種がどこに落ち
たかよくわからないんですよ。

宮本 一回だけのイベントとか特に難
しさがあつたりするよね。

長津 種が落ちてどこに落ちたか分かん
ないつていうのはわかりますね。

森山 でも6年の経過の中で、啓発のイ
ベントの中で撒いた種つて少しやし、それ
が胡蝶蘭になつてるかって言つたらそ
うじゃないかもしれないけど、寄付や助成
金を提示してくださる団体があつたり
とか、新聞もチラシを送るたびに取材
したいとか向こうから言つてきてくれ
るようになったりとか。小さな積み重
ねだけけどその種が芽を出し始めたの
なつて思うよ。

宮本 そういふ実感みたいなものがある
んですよ。

よ。
宮本 そうなんでしょうけど、あえて事
業を5つに分けていうつていうのは何か
あるんでしょうね。何か変えたいとか、
社会をこうしたいとか、そういったこ
ろがあるわけですよ。ね。そ
の中でも「啓発活動」つてと
ても広い意味だと思ふん
ですけど、その活動の方向性
であるんですか？

森山 タロ(山田のこと)がチ
ラシや会場をデザインする
時はどんなことを考へて
やつてるの？

山田 いわゆる医療とか福祉
とか障がいとかいう壁を無
くしたいという気持ちでデ
ザインしてます。その関係施
設にしか置けないチラシで
はないようにしたいと思つ
てる。デザインすることつて、
**その壁に窓を作ることだと
思つてるんですよ**。チラシもイ
ベント会場も、多くの人に向けられるも
のであることが大事だと思います。この



イッタモンガチ展
チラシデザイン (2015)

福岡市中心部の
イベント会場にて実施した
展示イベント。
通りすがりの人が多く
した参加した



あそびく
- ニコセミアそび博覧会 - (2017)
「窓」の一例。会場エントランス。

「調査研究」をほどこ

宮本 調査研究つてどんなことをやつ
てるんですか？

森山 今は福岡大病院のNICUと
かGCUとかで、お母さんたちのメンタ
ルのサポートをしています。制度提案に
繋げるために学会発表したこともあり
ました。前には福岡市との共働事業の
おうちで暮らそうプロジェクトをやり
ました。障がいのある人の生活のニー
ズの実態調査とか制度の提案とかやつた
よ。福岡大病院のことなどもととは
それでやり始めたことなんよね。病院
つて特別な場所でも、もちろんNICUとか
GCUとかつて親しか入れない場所だ
から、かなり閉鎖的な場所なんですよ
ね。でも、続けていくうちに病院側から
オファーがくるようになったんよ。あ
と、演劇の事を学会発表したのも、他の
団体でもこんな形の演劇を實踐できる
んじゃないかっていう思いでやつたよ。
宮本 実験的な演劇のスタイルをモデル



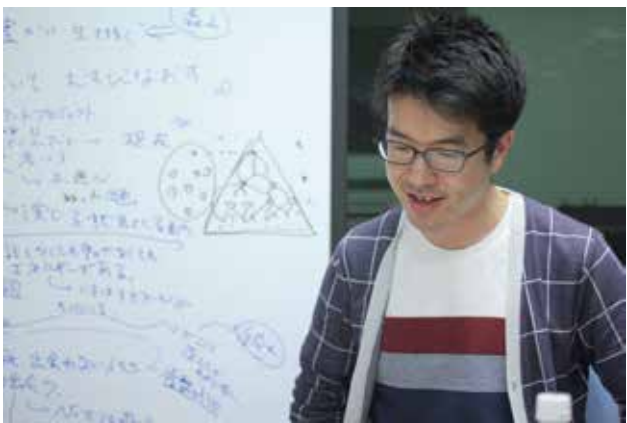
と芝居をしたって言うている事がつな
がっているような気がして、すごいこと
だと思わせられます。

と芝居をしたって言うている事がつな
がっているような気がして、すごいこと
だと思わせられます。



おうちで暮らそうプロジェクト
(2013, 2014)

医療的ケアの必要な人の生活の
実態調査と制度提案を実施



化してることですよ。

山田 共働事業でやったことは制度に繋がったこともあるよね。

森山 市の担当の方と一緒にいろんな事を見て、協議して市の人も必要だと思っ
た事なんだと思う。

長津 その市との共働事業はどうやって
始まったんですか？

森山 N I C Uでお母さんたちの気持ちがある程度整理されて退院できると、その後の在宅生活での家族のあり方がだいぶ違うと思うから、それを叶えるために何かやりたいなと思って。ただ実はこの共働事業は2年間を費やさなくともお母さんたちがどう思っているのかとか、何が必要なのかとか、全部わかってたんだけど…。でも今まで変わっていないものが私たちが訴えるくらいでは変わるわけがないよね。それならば横に並んで手を添えて一緒に考える姿勢がいるなって思ったから共働事業だったんよね。それでわざわざすごい細かいアンケートとか作ったんよ。

宮本 啓発活動っていう感じですね。

森山 ある意味、行政への啓発活動。

長津 そういう風に聞こえますよね。

森山 だから行政の人にはちゃんと理解して「これは何かやらなくてはいけない」と思ってもらわないと制度って変わらんないし、社会って変えていけないって思ったから、共働事業が必要って考えて一生懸命やったね。



ど、できるだけそこに近いところにいることが大切なのではないかと。他の活動でも同じことが言えるんじゃないかな。日常でかわってるからできることがあるんじゃないかと思えます。演劇とかだっけそうでしょう？やっぱ家にいる本人のあたりまえを見ることって大事ですよ。トイレとかお風呂とかってイベントだけのかかりでは絶対できないですもんね。それだけの近さ、深さでわかるから見えること、感じるものがある。それを6年以上やってますからね。

宮本 福祉サービスって、最初「訪問」から始めて…？

山田 最初「訪問」から始めて、次に「相談支援」が始まって。そして、去年「通所」が始まりました。

宮本 N P O を始める時に、最初に「訪問」を選択したのは？

森山 今始められるのが「訪問」っていう事だったんよ。そして、本当にやっていかないといけない「相談支援」。やっと人数が少しずつ増えてきた「通所」。そして、いつかやりたい「短期入所」。

宮本 結構そこは計画的ですね(笑)。
長津 確かに。

森山 結構ちゃんと考えるよ？ちなみ
にうちのスタッフのほとんどは医療的ケアに対応できるようにしてる。医療的ケアがあるからできない、受け入れられないっていうことを少しでも無くしたいんよね。

「よかプロジェクト」をほどこ

宮本 よかプロジェクトって何があります
したっけ？

山田 ニコサンタでサンタの格好して訪問するのとかですね。あと最近で言うニコフェスとか。

長津 ニコフェスって啓発ではないんですね。

山田 子どもとかその兄弟家族とかが楽しむものですか
らね。

宮本 ニコフェスすごかったですね。あれはなんか謎な雰囲気でした(笑)。サッカースタジアムの人々がほとんど来ない裏側で、めっちゃシニールだ
なあって思いました。

森山 でもみんな楽しんで
たっけって言ってたね。ただ人が
来ないよねっていう場所だっ
ただけよ。とりあえず声か
けられる人だけ声かけてこ
じんまりでもいいねって
話だったんよね。その職員の人には啓
発になってるよね。来年もぜひやって
くださいって言うてるのはそういう
ことだろうし。

長津 でもそこまで本気でやるのって
一体何なんですかね

森山 本気でやらんと面白くならんけん
よ。

「法人化」をほどこ

長津 法人化することにしたのはなんで
なんですか？福祉サービスをやるた
め？

森山 そうそう、その通り。もともとニコ
ちゃん通信の会をやり始めた時にN P
O 法っていうのができて、ニコちゃん通
信の会の時は縛りとかを考えるとしな
かった。でもいろんな楽しいことをみん
なでやってても、結局、打ち上げ花火で
しかなくて。私は自分の人生ではリョウ
ウちゃんといった時間は全部楽しかった
みたい。普段の生活も病院に行ったりする
こともキャンプに行ったりすることも全
部楽しかったんよ。だから他の家族で子
どもが寂しそうだったり、お母さんが疲
れてたりとかするのがなんでだろうっ
て。もっと何かできることがある
はずなのにつて。

長津 今はその感覚はどうなん
ですか？

森山 1998年にN P O 法が
できた頃に「お遊び助っ人企画」
のスキー企画に参加したことが
あるお母さんで、たった1回の経
験がその家族にとっての宝物の
ような時間っていう人がいたん
よ。その家族にとってすごく大切
なものになっていたことが分かっ
て、やって良かったと思うし、今
までやってきたことは間違ってい



ニコフェス (2018)

ニコサンタ (2012～)

長津 では、来てくださる利用者さんで
あったりお子さんであったりに楽しん
でもらおうと思ってるってこと。
もちろんそれはそうだけどそれだけで
は無いですよね。自分たちが楽しんで
るっていう感じがしますよね。そもそも
楽しむって言うところまでのハードルが

すごい高いんですよ。こ
んなもんじゃうちらは楽
しまないみたい。

森山 これくらいで楽し
いっていう人もいれば、こ
んなだけないと楽しくないっ
ていう人もいると思うん
よね。人によって様々で。
だけどその幅をぐんと上
げてすごく楽しい状態に
しておけばその中に入る
人たちはたくさん増える。
宮本 その結果長津さんが
言ったみたい「なんかよ
くわからない」みたいなこ
とになってるんじゃないか
(笑)。

「福祉サービス」をほどこ

宮本 以前、山田くんが言ってたヘルパー
をしないとデザインができないって
のはどういうこと？

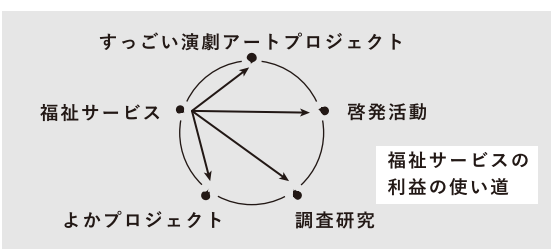
山田 「一人称に近いところでデザインし
ていたってことかな」と。本人の言葉
が一番エネルギーを持っていると思うけ

なかつたんだなと思った。ただ、それだ
けがクローズアップされるほど他の時
間は豊かじゃないんだなとも思ったん
よ。自分たちでできることはたかが知
れている。普段の生活のベースがないと
キツイんだろうなと。自分の時は福祉
サービスはなかつたけど家族とか近所
とか友達とか助けてくれる人が周りに
いて成り立っていた。日常をお手伝いす
ることは大切だし、余暇みたいなこと
もそうだし。それが全部に繋がっている
よね。ただ、そうやって私たちがいろん
な手法を使ってやっていってもままたら
ない部分が出てくる。それは国の制度
とか、社会の動きを変えていかないとど
うしようもないことがいっぱいあると
いうことに気づいて。そういう考えの中
で法人格があるよねという流れになっ
た。福祉サービスをするのに法人格がい
るし、行政といういろいろする

にも、個人じゃなくて法人
格を持っていると、ものす
ごく強いんだなというこ
とが分かったし。

長津 やっぱ、法人格を
持っているのは違いますよ
ね。縛りも増えるけど。

森山 私がもう一個思っ
てたのは、学生さんとかで
ボランティアとしてかか
わってくれていた人たちは、
楽しんで一生懸命やって
ても就職となった途端、



身体に障が

いのある人や
70歳前後の人を俳優と
する演劇公演で、前作「身
体的にバラエティあふれるひ
とたちの演劇公演BUNNA」に続
く2作目である。公演前年度に行った
俳優講座に参加した人を新たに俳優として
迎え、新作に臨んだ。演劇としては、原作をモ
チーフに俳優とともに創作した寸劇やダンスなど
のシーンと原作の抜粋シーンで構成し、障がいや老い
の不自由さから生じるエネルギーを存分に引き出した
作品である。

創作過程においては、「バラエティあふれる
ひと」ということで、裏方スタッフには介
助（ケア）も求められる。
ここでは、その裏方に着目して作
品が創られる過程を追っていき
たいと思う。

■公演日
2018/12/21（金）
2018/12/22（土）
2018/12/23（日） 全3公演
■会場 ゆめアール大橋 大練習室
■来場者数 445名
■原作 太宰治「走れメロス」
■構成・演出
倉品 淳子（劇団 山の手事情社）
■出演
井上 直己/尾崎 礼/北島 美由紀/小出 直子/小寺 美
咲/里村 歩/佐野 優馬/瀬川 サチカ/堤 泰子/中江 育
子/中村 藍人/中村 とし子/中村 ひとみ/二ノ宮 直子/平
畑 貴志/廣田 溪/森 裕生/山口 恭子

主催：認定 NPO 法人ニコちゃんの会
公益財団法人福岡市文化芸術振興財団 / 福岡市
後援：福岡市教育委員会
助成：平成 30 年度福岡県障がい者芸術文化活動推進費補助金
（公財）福岡文化財団
協力：劇団山の手事情社 / 九州大学大学院芸術工学研究
院附属ソーシャルアートラボ「演劇と社会包摂」制作
実践講座受講生 / 九州大学長津結一郎研究室
Quartet Online / フランスベッド株式会社メ
ディカル福岡営業所
チラシイラスト：大峯直幸（工房まる）

第 26 回ふくおか県民文化祭 2018
協賛事業
平成 30 年度福岡市民芸術祭
参加事業
beyond2020 認定事業

走れメロス。創作の過程

せつかく思いがある人でもそこから離
れていく人をたくさん見てきて「もった
いな」と。そのままでは社会は変えて行
けないし、障がいのある人を支えたり、
家族を支えたりできないとやっぱり
思った。福祉サービスで支えられて、そ
こで利益が出て、その利益でこんな活
動を心からしたいと思っている人がこ
の活動に専念できる。それが叶うなど
思った。だから、私にとってこの団体の
やっつることって「仕事」じゃなくて「活
動」なんだよね。

宮本 始めに今回の「ほどいてむすぶ」
というテーマについて「団体内で次世代
と結ぶ」、「今の社会と結ぶ」という二つ
の意味があるんじゃないかという話を
しましたが、どう結んでいきましょう
か。

山田 まだ結べないかもしれないです
ね。まだほどけてないところもあるか
も。

長津 無理矢理結んでもいいけど、そ
れもなんだか意味ないような気がする。
とりあえず、今日はほどいて広げた
と。ひとまず事業が単純に5個に分か
れている訳ではなくて、それぞれが絡
み合っている部分がたくさんあるって
ことがわかった。ウンちゃんが「心豊かに
」と言っているけど、その言葉を使わず
に、共通していることもあるかなと。今

今日何回も出てくる言葉で、やっても変
わらないから「わざわざ」何かをしてみ
るみたいな（笑）。演劇もそうで、リョウ
ちゃんと芝居をしたいっていうのは今は
できないけど、わざわざ演劇の形をとっ
てる。啓発も今までのやり方で頑張っ
てやっても変わらないからわざわざこん
な大がかりなやり方を取ってる。なんか
そんな言い方をしているのが共通で、わ
ざわざなんだなって思いました。何ら
かの困り事があったりした時に、わざわ
ざ調査研究のふりをして本当に自分た
ちが伝えたい困り事を違う形で示して
いる。その方法はいろいろあって、啓発
だったり福祉サービスだったりアートの
だったりするっていう。あと、リョウウ
ちゃんと芝居がしたい」と言う話は全部
にかかわっている話だったとか。全体を
俯瞰した時に結び目が見えるかなと思
う。でも、結び目が見えたところで、そ
の結び目がどうなるのかなというのは
次の話かなと。

宮本 確かに。今日は二人の言葉で出て
きたけど他の人にも翻訳していかない
といけないですよ。

森山 翻訳して！

長津 僕とかは、演劇以外の活動を知
らないから、結構強引に「それって面白
いですね」とか無責任に言っちゃうけ
ど、本当は駄目で、やっっている人の言葉
じゃないと。その人が本当にそうだなと
思うことじゃないと意味が無いと思う。
共通認識があればいい。

宮本 人間の思考が論理的に出来てい
ないところが難しいですよ。

長津 でも確かに、論理的な部分もあ
る。でもそうでないこともいっぱいあ
る。それが真実だなと思います。

宮本 結果的に解いてみただけで結び直
す事はすごく大切にやっついていかないとい
けないことなんじゃないかな。あと、絡
まったものをもう少し丁寧にほどいて
いって。1つ言える事はこの5個の事業
とかも便宜的に分けられているっての
が分かったというか（笑）。でもなんか、
一つ一つの話の結び目みたいな所にマ
キングしていくのはいいかもしれない
ね。

森山 「わざわざ」みたいなやつね。

長津 僕の中でその結び目になるグッと
くるポイントは「わざわざ」だったんで
すよね。それと山田さんのヘルパーや
らないといいデザインができないこと
かかわらないと1人称での表現ができ
ないっていうことだったんですけど、こ
れって別にデザインだけのことではない
と思うんですよ。なんかこれってニコ
ちゃん全体のこととしてあるものなの
かな、と思ったとか。あと小さな種が
胡蝶蘭にならないっていうのは結構面
白かったですけど（全員笑）。種がどこに
落ちたか分からないとか。啓発とか演
劇にかかわることですしね（笑）。

森山 誰かニコちゃんを研究してくれな
いかなあ。



裏方目線で創作の過程を振り返る。

身体的にバラエティあふれるひとたちとの演劇の創作では俳優の介助（ケア）も作品を作り上げる上で非常に大事な裏方スタッフの役割です。裏方スタッフの目線でどのようにメロスが作り上げられていったか振り返ります。

9/10

チラシが完成。配布作業を行いました。11月の稽古開始までは演出の倉田さんが福岡に来れる時に全体の打ち合わせ等を行いながら進みます。



準備



創作過程で障がいのある人たちの演劇の作り方を学ぶインターン生とのかかわりもありました。稽古が始まった際には裏方として大きな力になってもらいました。

2018年
7/21

始まり

1年前の
6/16~7/16

公演前年に行われた俳優講座では後の公演の俳優となる人材発掘を行いました。



11/29

私たちが俳優さんたちも疲れが見えます。翌日の俳優の動きが変わったのでスケジュールを調整することになりました。あと1か月踏ん張ります。



夏ごろからキャストや裏方全体で打ち合わせ等を行いました。11月から稽古が始まりました。稽古期間が短いのでキャストが集まれる日にちを調整しながら行きます。公演までほぼ毎日平日17:00~22:00、土日13:00~22:00の稽古が始まります。

11/17

稽古の1か月



車いすの俳優は移動手段が無い人は裏方スタッフが送迎を行わなければなりませんし、稽古の間の介助等も裏方が担います。常に男女1名ずつ以上は介助要員として必須で稽古中に張り付いていなければなりません。あと、音響の役割や、休んだ俳優の代わりに稽古に参加したりもしました。

11/18

衣装合わせは稽古の間で行われました。その人の体や車いすとの兼ね合いを見ながら衣装が作られます。私たちは衣装の「正しい装着方法」を覚えなければなりません。

12/15



12/12



タカシさんが稽古に来ました。体力的な問題があるため彼は稽古の参加が極力少なくできるように最も効果的に進められる計画が立てられました。それと同時にタカシさんのことをよく知っているベテランヘルパーさんが裏方として協力してくれました。

12/8

会場に簡易セットがセッティングされての稽古です。稽古が始まる前にこのセッティングを行います。今までの稽古が急にリアルに見えました。



12/20

本番同様に公演が行われる「ゲネプロ」が始まりました。私たち裏方は公演当日は観られないので俳優の介助を交代しながらこの日に観劇しました。

会場設営の日がやってきました。この日は俳優陣は休養をとり、裏方スタッフやボランティアさんと会場を作り上げます。

12/16



本番

12/21

いよいよ公演当日です。俳優の衣装と心身を万全に整えてメイクの係の裏方さんにつなぎます。

稽古の現場でのケアとそのおもしろさ

生まれているのです。そのような空気感を体験できたことも今回の講座の醍醐味だったのではないかと思います。

引用：アート活動を通して「共に生きる社会」の創造
九州大学ソーシャルアートラボアートマネジメント
人材育成事業平成30年度活動報告書
（九州大学芸術工学研究院附属ソーシャルアートラボ）



認定NPO法人
ニコちゃんの会スタッフ
漆山 阿弥
「走れ!メロス。」では俳優やスタッフのスケジュール管理等も行う。

稽古の現場では、俳優さんたちと食事、着替え、トイレ、移動などの介助/ケアを通して積極的にかかわりを持ちます。稽古後の汗びっしょりのTシャツや疲れで緊張が高まっている体、着替えながらも自分の演技を振り返る姿などをそばで感じていると、あらゆる角度からその人の真剣さや熱い想いがひしひしと伝わってきます。また、体を思うように動かさない俳優さんたちにとっては、衣装のよれや靴やサポーターの締め付け具合などによる違和感を自分で治すことができません。それらは、集中力の維持や身体や疲れのコントロールにつながることも多く、ケアすることは作品の「仕上がり」にとっても大事な役割を担っているのです。「このくらいのキツさで大丈夫?」と1つ1つ確認しながら留めていくなど、丁寧なかかわりが求められます。介護の世界では、人の心に寄り添うことの重要性がよく語られますが、この現場では、「この人がベストな形で舞台上に立てるように」と自然に考え、そのためのケアをする側もされる側も自然と歩み寄りたくなる、きさくで温かみのある関係性が



裏方育成ワークショップ
身体的にバラエティあふれる人たちの演劇のつくり方

今年度はこの裏方育成事業を行います。詳細は16ページに記載しています。

メディアへの掲載

2018/12/19 読売新聞



2018/12/17 朝日新聞



2018/11/27 毎日新聞



2018/12/20 西日本新聞



2019/1/17 西日本新聞



福岡市文化芸術振興財団 機関誌『wa』vol.79



(脳性マヒの人からインタビューを受けて) 文字盤じゃなくて聞き取ってあげたかった。きちんと言葉や意思をもっていると思った。それがわかった時嬉しかった。表現の仕方が難しいだけで考えていることがわかった。誤解してた。
(30代 会社員)

部分的な障がいイメージしてた(歩けない、聴覚障害など)けど、会ってみて全身動かなかったり、目が見えなかったり、(バギーに乗って)上を向いている状態、というのに驚いた。
(20代 学生：看護)

自分から話しかけるようになった。ニコフェスでは案内するだけで自分から行くことはできなかったが、あそびくでは自分から行けたし、あそびくをやらせてもらってじゃなくて「その子」にかかわれた。
(20代 学生：看護)

(事前に子どもたちの)動画を見ていても、ニコフェスで遠巻きに会っていても、あそびくでいざ対面すると「ここまで表情がわからないのか」と思った。わからなさがわかった。でもわからないなりに、もももど動く子を見て興味を持っているように思い、少しほっとした。
(20代 学生：看護)

自分が思っていた当たり前が他の人にとって当たり前じゃないことに気づけたのが一番大きな学びで、おもしろかった。
(20代 福祉施設スタッフ)

バイト先に障がいのある大人の人に来て、ショーケース越しに接客するんだけど、迷われてたので近くまで行って一緒に考えることができた。もともと障がいのある人を心配したり手助けしたりしてないし、したいとも思っていなかった。むしろ心配することも失礼なんじゃないかな? と思ってしまった。ニコゼミに参加しなかったら、バイトでもそんな対応してなかったかもと思った。障がいのある人に対する壁がうすくなった。こわくなくなった。
(20代 学生：看護)

かわいそうって気持ちがあったけど、本人たちはそう思ってるかな、そうじゃないんじゃないかな、感じてることは自分とそうかわらないと思った。
(30代 会社員)

受講生の気持ち

受講してみてもみなさんの考えにどんな変化が生じたか聞きました。

コミュニケーションの仕方は人それぞれと思った。今日の話でも、障がいのある人を私は知的に下にみてたんだって感じた。自分の汚い部分を実感した、気付いた。その気付きがこれから(看護を学ぶ中で出会う人とのかわり)に役に立つと思う。
(20代 学生：看護)

それぞれの子でできることできないことの違いはあってもやってみようという挑戦心や積極性を持ってかわって行くことで、その子のできることが広がっていくことがわかった。
(20代 学生：看護)

あそびくで障がいのある人からインタビューを受けた時、前だったらその人となりにいる人に話してたと思うけど、あそびくでは本人に話して、みんなで考えたり違ったのを一緒に笑ったりして、接することが楽しかった。
(20代 学生：看護)

ニコフェスでの親の感想を聞いて、「かわり方を変えよう」って意気込みをもって、あそびくに臨んだ。触りたくなかったわけじゃなくて触ってもいいんだって知ったから、積極的に触れることができた。
(20代 学生：看護)

障がい者を「かわいそう」って思った。親も大変だと思ってた。でもニコゼミで家族をみて本当に可愛がって大切なんだなと思った。今は障がいのある人を見ると、どんなふうに住んでいるんだろうとか、その人のふつうって、この社会で生きていくのにどんな工夫をしているんだろうかと思うようになった。自分とは違うというふうで思ってたけど、自分との境がなくなった。
(20代 学生：看護)

あそびくでは、障がいのある大人にも会えてよかった。演劇でも感動したけど、今度はマジックやるし。いろんなものを打ち破ってくれている。障がい者に対する概念とかも。
(50代 スペース運営スタッフ)

話しかける途中や、移動している時に急に痙攣が起こった時に驚いたが、たまになることがあるという事を教えてもらいました。
(20代 学生：保育)

ニコフェスでは親には目を見て話すことができなかったけど、あそびくでは目を見てはなした。ある男の子にふうせんを選んでもらう時に、ペロペロ舌の動きをしてくれて、選んでいることがわかった。私にもやっとわかったって思った。単純にうれしかった。
(20代 学生：看護)

重い病気や障がいのある子どもとかかわる機会のない人を対象に「ニコゼミ2018 最小で最大のコミュニケーションに出逢う!!!」という講座を1年間にわたって開催してきました。障がいのある子どもと初めて出逢う「セッション0」様々な専門的知識を学ぶ演習「セッション1」、学んだことから考えを深める「セッション2」、子どもたちと再会し考えたことを実践する「セッション3」、そして学んだことを人に伝える1年間の集大成のイベント「セッション4」という5つのまなびの時間で成り立つコミュニケーション講座です。ニコゼミは2016年に初めて開講し、今回は第2期目です。今期のテーマはアウトドア。毎週に特色ある講座内容となっています。ここでは受講生の学びや心の変化についてご紹介します。

2018年	5月	セッション0 春のデイキャンプに潜入!	参加者 48名 受講生: 10名 病児・障がい児: 5名 兄弟児: 5名 家族: 10名 他法人スタッフ等
	6月	セッション1 まなびの時間!	
		セッション2 ふりかえりの時間 わくわく!秋のイベントをみんなで企画!	
	10月	セッション3 ニコフェス	来場者 143名 受講生: 21名 病児・障がい児: 18名 兄弟児: 15名 家族: 35名 ボランティア: 27名 他法人スタッフ等
2019年	3月	セッション4 あそびく-あそび博覧会	来場者 157名

- 受講対象者
 - ・重い病気や障がいのある子どもに関心のある人
 - ・非言語のコミュニケーションに関心のある人
 - ・医療、福祉の道を考えている人
 - ・表現に関心のある人
 - ・人間が好きな人
- 受講生 25名
- 受講料 無料



助成: タケダ・ウェルビーイング・プログラム2017
協力: 九州大学長津結一郎研究室 後援: 福岡市、福岡市教育委員会



ニコゼミ2018報告書



あそびく-あそび博覧会-チラシ



ニコフェス チラシ



ニコゼミ2018 チラシ

イベントチラシ

今期の活動計画

2019年度第8期の事業計画

4/13	よ	春の式 [keywords] ニコちゃん家
5/3	よ	ニコちゃんどんたく隊 [keywords] どんたく / 城南市民吹奏楽団
6/1~2	す	「演劇と社会包摂」制作実践講座 身体表現ワークショップ 障害からひろがる表現とケア [keywords] 共催事業 / 門限ズ / 九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボ
6/20	啓	福岡大学医学部看護学科講義 [keywords] 医療的ケアが必要な子どもと家族について
7/12~15	す	身体的にバラエティあふれる人たちとの演劇のつくり方 [keywords] 倉品淳子氏 (劇団山の手事情社) / (公財) 福岡市文化芸術振興財団 / 九州大学大学院工学研究院ソーシャルアートラボ / 福岡市
7/15	す	「演劇と社会包摂」制作実践講座 フォーラム「障害からひろがる表現とケア ともに創造するためのはじめの一步」 [keywords] 共催事業 / 吉野 さつき (ワークショップ・コーディネーター) / 森田かずよ (ダンサー・俳優) 倉品 淳子 (俳優・演出家) / 九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボ
9月予定	す	アウトリーチ [keywords] (公財) 福岡市文化芸術振興財団
10月予定	よ	ニコフェス [keywords] お祭り
10月予定	す	アウトリーチ [keywords] (公財) 福岡市文化芸術振興財団
12月予定	よ	ニコサンタ [keywords] クリスマス
12月予定	す	少しずつ自由になるために#10 [keywords] 岩下徹氏 (即興ダンス・山海塾舞踏手) / 新井理恵子氏 (ちんどん鈴乃屋)
1~2月予定	す	演劇公演「ガラスの動物園(仮称)」 [keywords] 倉品淳子氏 (劇団山の手事情社)
通年	調	ボランティア参加のしくみづくり [keywords] (公財) トヨタ財団

す：すっごい演劇アートプロジェクト
啓：啓発活動
調：調査研究
よ：よかプロジェクト
障：障がい福祉サービス

2019 7/12~7/15

身体的に バラエティあふれる 人たちとの 演劇のつくり方

今年度は、「縁の下の力持ち」に焦点を当てたワークショップを開催します。身体的にバラエティあふれる人たちとの演劇創作の現場は多くの工夫が必要です。縁の下の力持ちとなるケアスタッフは、身体的な援助とともに、時には一緒にアイデアを出したり、気づきを話したり、舞台に関するさまざまな裏方さんとして役割を果たしたり、またその逆転もしたり。演出家・俳優・ケアスタッフが一丸となって創作されます。このワークショップのなかで、さまざまな人たちの

目的：身体に障がいのある人が出演する舞台の裏方スタッフの育成
対象：文化事業や文化施設関連の仕事に従事されている方 / 福祉事業関連の仕事に従事されている方 / こうした分野に将来携わりたいと考えられている方
主催：認定 NPO 法人ニコちゃんの会 (公財) 福岡市文化芸術振興財団 / 福岡市
共催：九州大学大学院芸術工学研究所ソーシャルアートラボ
助成：平成 31 年度福岡県障がい者芸術文化活動推進費補助金

かわりを通じて、表現が生まれる現場を体感するとともに、そこにあるケアの役割について考えます。



ファミリーメンタルサポートとは

法人が設立された2012年から、大学病院の医師、地域医療連携センター、そしてご家族からのご相談を受け、病院からおうちへ帰るお子さんとご家族へのサポートを行ってまいりました。NICU (新生児集中治療室) や病棟に入院している時からかかわりを始め、ご家族の不安な気持ちや様々な想いに寄り添いながら、退院後のおうちの中のベッドや医療機器の配置、準備等、在宅移行に関することを、退院支援看護師さんと共に支援しています。そしておうちに帰ってから、病院にいる時と同じようにご家族の気持ちのサポートや困りごとの対応、イベントへの誘い等かかわりを続けさせて頂いています。これを「ファミリーメンタルサポート」と呼んでいます。福岡市との共働事業「おうちで暮らそうプロジェクト」(2013年~2014年)内でファミリーメンタルサポートカードを作成、配布し、それが今日の活動につながっています。

NICU (新生児集中治療室) を経ておうちに帰っていくお子さんとご家族を支える「ファミリーメンタルサポート」という在宅移行継続支援を行っています。その一環として、昨年度2018年9月からは、「ニコカフェ」(主催:福岡大学病院/共催:NPO法人ニコちゃんの会)という取り組みも開始しています。毎週水曜日に福岡大学病院GCU (新生児治療回復室) 内にサロンを開き、お母さんたちの不安や様々な想いを聞いたり、これから先について話し合ったりする場を設けています。また、サロン内には、生まれておうちに帰るまでの流れがわかる展示物を準備したり、在宅での生活について等の情報提供も行い、NICUの看護師さんや地域医療連携センターの退院支援看護師さんと共に、ご家族の不安を軽減し、より心豊かな在宅生活が送れるように取り組んでいます。

この1年間でニコカフェにはたくさんのご家族が立ち寄ってくれました。カフェと言ってもお茶は出ませんが、お母さん同士で不安や喜びを分かち合ったり、誰にも相談できないことをスタッフに話して楽になったり、そうして多くの子どもがおうちに帰っていききました。NICUやGCUにいる赤ちゃんたちは、少し小さく生まれてはきたものの順調に発育し、退院していく赤ちゃんから、重い病気や障がいのために体調が安定しておうちに帰るまでの時間がたくさんかかる赤ちゃんまで様々です。どのような状況でもひとりの「子ども」という意味ではみんな同じ。その考えのもと、ひとりひとり子どもの状況も家庭の環境も違いますが、それぞれの「ご家族に一番いい方法で、新たな「家族の暮らし」に移行できるようにサポートしています。

第8回日本小児在宅医療支援研究会 「在宅移行支援 -患児・家族に寄り添う-

この活動を通して家族にかかわってきた中で、在宅移行支援を行う上で本当に求められているのは何なのかという内容で発表しました。家族に必要なのは情報と物品の準備だけでなく心の準備(障がいの受容等)が何よりも重要であること、病院で受ける病状の説明は十分に伝わっていないこともあり、その通訳が必要であること等の内容でまとめました。今後の在宅移行がより良いものになるようにしていきたいです。

発表資料の一部

すっごい演劇アートプロジェクト

2018

12/21
~23

身体的にバラエティあふれるひとたちの演劇公演 走れ!メロス。

[keywords] 倉品淳子氏 (劇団山の手事情社) / (公財)福岡市文化芸術振興財団 / (公財)福岡文化財団
(公財)平成30年度福岡市件障がい者芸術文化活動推進費補助金 / 福岡市



目的 身体に障がいのある俳優が出演する演劇作品の創作

来場者 12/21: 143名
12/22: 147名
12/23: 155名
計 445名

会場 ゆめアール大橋 大練習室

身体に障がいのある人や70歳前後の人を俳優とする演劇公演。前年度に行った俳優講座に参加した人を新たに俳優として迎え、新作に挑みました。

演出はお馴染みの倉品淳子氏で、原作をモチーフに俳優とともに創作した寸劇やダンスなどのシーンと、原作の抜粋シーンで構成されました。原作は太宰治の「走れメロス」。

2018

10/3

少しずつ自由になるために #09

[keywords] 岩下徹氏 (即興ダンス・山海塾舞踏手) / ゼルプスト
新井理恵子氏 (ちんどん鈴乃屋) / 福岡市立今津特別支援学校



目的 身体障がいのある人のための表現に触れる機会の創造

対象 今津特別支援学校の生徒

岩下徹氏と新井理恵子氏による身体表現ワークショップ「少しずつ自由になるために」は、法人化以前から数えて9回目となりました。今津特別支援学校では、4回目の実施です。今回は小学部の児童を対象に行いました。

2019

1/29
1/30

アウトリーチ

[keywords] 佐久間新氏 (ジャワ舞踊家) / (公財)福岡市文化芸術振興財団
河合拓始氏 (ピアニスト / 即興演奏者) / ペアレントかすが
福岡市立南福岡特別支援学校 / 三宅公民館 / ニコちゃん家



目的 身体に障がいのある人とアーティストの相互表現の機会の創出

対象 南福岡特別支援学校の生徒

佐久間新氏 (ジャワ舞踊家) と河合拓始氏 (ピアニスト / 即興演奏者) によるワークショップを3つの異なる場所で開催しました。少人数を対象とし、濃密なかかわりを大切に行いました。

2018

7/1~
1/31

「演劇と社会包摂」制作実践講座
多様性から生まれる舞台

共催事業

[keywords] 九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボ
身体的にバラエティあふれるひとたちの演劇公演 走れ!メロス。



目的 身体的にバラエティあふれる人たちの演劇制作にかかわる人材育成

日時 7/14 第1回講座 オリエンテーション「表現と出会う」
フォーラム「わたしたちの舞台はどこにある？」

—劇場と社会包摂を考える実験—

7/15.16 ワークショップ「身体で知りあう表現とケアの2日間」

7/21~12/23 舞台制作実習現場でのインターンシップ

2/17 ディスカッション「共に振り返る」

対象 12名 (インターン生を一般公募)

多様な身体を持つ人々が参加する演劇作品の制作プロセスを体験することを通して、障がいのある人とのコミュニケーションのあり方や、舞台制作の現場におけるケアのあり方など、多様な表現を支えるために必要なコト・モノを実践的に学んでいくことを目的とした企画を共催という形で実施しました。受講生はオリエンテーション、公開フォーラム、ワークショップを経て、演劇制作の現場にインターンとして稽古から公演までの作品制作にかかわり、ディスカッションで今回の体験を振り返るという一連のプロセスを通して、これからの活動に活かせる形で「学び」を展開することを目指しました。

2018

4/1~3/31

啓 ニコゼミ2018

[keywords] タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2017/ ニコゼミ 2016

4/2~3

啓 株式会社ノーサイド社員研修講師

[keywords] (株)ノーサイド / クレアホール・ふせ

4/27

啓 筑紫女学園大学講義

[keywords] 森千鶴子氏 (筑紫女学園大学非常勤講師・フリー記者) / 筑紫女学園大学

7/1~1/31

す 「演劇と社会包摂」制作実践講座 多様性から生まれる舞台

[keywords] 共催事業 / 九州大学大学院芸術工学研究院ソーシャルアートラボ
身体的にバラエティあふれるひとたちの演劇公演 走れ!メロス。

7/13

啓 ニコファミ

[keywords] かかわっているお母さん方

9/29

調 第8回日本小児在宅医療支援研究会 研究発表

[keywords] 神戸国際会議場

10/1

障 「ニコちゃん家」開所

[keywords] 児童発達支援 / 放課後等デイサービス / 居宅訪問型児童発達支援 / 生活介護

10/3

す 少しずつ自由になるために #09

[keywords] 岩下徹氏 (即興ダンス・山海塾舞踏手) / 新井理恵子氏 (ちんどん鈴乃屋) / 福岡市立今津特別支援学校 / ゼルプスト

10/8

よ ニコフェス

[keywords] (公財)緑のまちづくり協会 / 東平尾公園 / ニコゼミ 2018

10/27

啓 学生地域活動大賞審査員

[keywords] 大学ネットワークふくおか / 福岡市 NPO・ボランティア交流センターあすみん

12/1~25

よ ニコサンタ

[keywords] クリスマス

12/21~23

す 身体的にバラエティあふれるひとたちの演劇公演 走れ!メロス。

[keywords] 倉品淳子氏 (劇団山の手事情社) / (公財)福岡市文化芸術振興財団 / (公財)福岡文化財団
(公財)平成30年度福岡市件障がい者芸術文化活動推進費補助金 / 福岡市

2019

1/29~30

す アウトリーチ

[keywords] 佐久間新氏 (ジャワ舞踊家) / 河合拓始氏 (ピアニスト / 即興演奏者) / 三宅公民館
(公財)福岡市文化芸術振興財団 / 福岡市立南福岡特別支援学校 / ペアレントかすが / ニコちゃん家

3/24

啓 あそばく -第2回 ニコゼミあそび博覧会-

[keywords] ニコゼミ 2018/ アクロス福岡

通年

調 nicocafe

[keywords] 福岡大学病院 / ファミリーメンタルサポート

通年

調 障がい児保育検討専門委員会

[keywords] 福岡市子ども未来局運営支援課

通年

調 難病の子どもネットワーク会議

[keywords] 日本財団

通年

調 福岡市医療的ケア児関係機関連絡会議

[keywords] 福岡市子ども未来局子ども発達支援課

す:すっごい演劇アートプロジェクト 啓:啓発活動 調:調査研究 よ:よかプロジェクト 障:障がい福祉サービス

前年度にやったこと

2018年度(第7期)事業一覧

2018 所属組織

通年

- ・障がい児保育検討専門委員会 (2019年度も継続)
- ・難病のこどもネットワーク会議
- ・福岡市医療的ケア児関係機関連絡会議 (2019年度も継続)

障がいのある人の暮らしをより良いものにしていくために行政等が主催している組織にも属しています。この中で暮らしと制度のすり合わせや新制度についても具体的な暮らしの実態を踏まえながら提案させていただいています。

2018 第8回日本小児在宅医療支援研究会 研究発表

9/29 [keywords] 神戸国際会議場

目的 nicocafeの実践を事例とした在宅移行支援に関する研究報告
対象 日本小児在宅医療支援研究会参加者

nicocafeを通して積み上げた事例を日本小児在宅医療支援研究会にて研究発表しました。産まれた時から退院するまでの間に家族の心の準備を整えることができるような工夫をまとめました。

2018 nicocafe

通年 [keywords] ファミリーメンタルサポート / 福岡大学病院

目的 NICU/GCUからの在宅移行支援の実践
対象 障がいのある子どもの家族

NICUや病棟に入院している時から、ご家族の気持ちに寄り添いながらの退院後の物理的な準備を支援しています。在宅に移行後も、引き続きご家族の気持ちのサポートや困りごとの対応等かわりを続けさせていただいています。

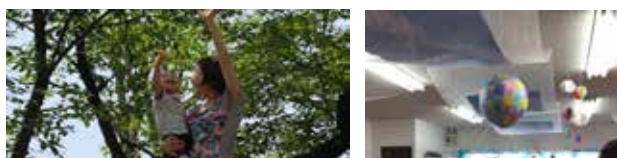
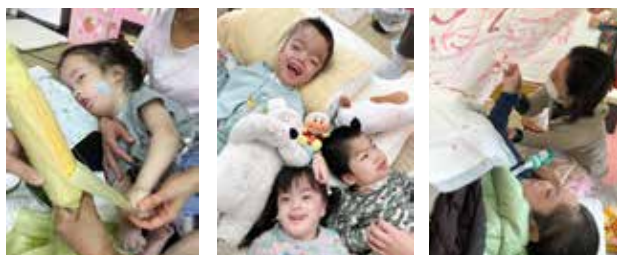
福祉サービス

2018 「ニコちゃん家(にこちゃんち)」開所

10/1 [keywords] 児童発達支援 / 放課後等デイサービス
居宅訪問型児童発達支援 / 生活介護

目的 通える場づくり
対象 障がいのある方

日中に通える場としてニコちゃん家が開所しました。「今日は何にする？」をモットーに、一人ひとりの気持ちや体調に合わせて心豊かな時間を提供できるようになりたいと思っています。



よかプロジェクト

2018 ニコサンタ

12/1~12/25 [keywords] クリスマス

目的 楽しむ機会づくり
対象 35家庭(主に福祉サービスでかかわっている方が対象となっています)

法人化してから毎年の恒例行事。2018年で7回目となりました。子どものおうちにたくさんのサンタがプレゼントと賑やかな時間を届けに訪問します。入院中の子どもにも、病院にサンタがやってきます。



2018 ニコフェス

10/8 [keywords] (公財) 緑のまちづくり協会
東平尾公園 / ニコゼミ 2018

目的 楽しむ機会づくり
対象 来場者 68名 受講生 21名
ボランティア 27名

ニコゼミ 2018の一環で、受講生たちが障がいのある人たちと屋外でかかわる実践の場となりました。今年度も実施予定となっています。



2018 ニコファミ

7/13 [keywords] かかわっているお母さん方

目的 井戸端会議の場作り
対象 障がいのあるお子さんのお母さん 4名

2018年8月に発刊したnicochanismのトークセッションにもなりました。お子さんが5歳未満のお母さんたちに集まってもらい、出産から現在までの心の変化などの話を聞かせていただきました。



2018 学生地域活動大賞 審査員

10/27 [keywords] 大学ネットワークふくおか
福岡市 NPO・ボランティア交流センターあすみん

目的 審査員依頼：非営利活動の取り組みを伝える
対象 学生団体 10グループ

社会活動を行っている学生団体の活動を表彰する審査会の審査員を務めました。



2019 あそばく - 第2回 ニコゼミあそび博覧会 -

3/24 [keywords] ニコゼミ 2018 / アクロス福岡

目的 ニコゼミ 2018の実践発表
対象 来場者 157名

ニコゼミ 2018の一環として受講生たちと一緒に企画した展示会です。「障がいのある子もいない子もまぜこぜになっていっしょにあそぼう!」をテーマに受講生にゼミの集大成となる遊びを展示発表してもらいました。



2018 ニコゼミ 2018

4/1~3/31 [keywords] タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2017
ニコゼミ 2016

目的 障がいのある子どもにかかわる人材育成
対象 受講生 25名

障がいのある人と一年を通して出会い、学ぶゼミです。今回はテーマをアウトドアとして受講生には屋外での活動での学びを企画しました。



2018 株式会社ノーサイド社員研修講師

4/2 [keywords] (株)ノーサイド / クレアホール・ふせ

目的 講師依頼：社員研修
対象 社員 約 80名

大阪にある株式会社ノーサイドの社員研修講師を2日間にわたり担当させていただきました。社員同士の対話を可視化しながら促し、今後の仕事に繋げてもらうような内容としました。

2018 筑紫女学園大学講義

4/27 [keywords] 森千鶴子氏 (筑紫女学園大学非常勤講師・フリー記者)
筑紫女学園大学

目的 講師依頼：福祉やNPOの取り組みの魅力を伝える
対象 学生

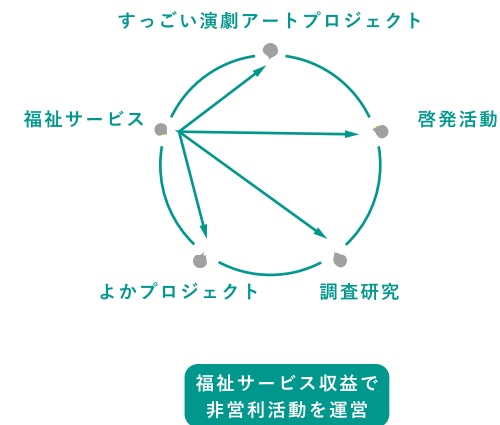
筑紫女学園大学の生涯学習概論という授業の中でお話させていただきました。障がいのある人の生活や当法人の取り組み等についてワークを交えて紹介しました。



寄付の利用について

①福祉サービス以外の非営利活動の充実

ニコちゃんの会では、福祉サービスの収益でその他の非営利活動を運営しています。啓発のための展示イベントや、演劇等、これからも多くの方にニコちゃんの想いをお伝えしていきたいと思っています。



②多様な人が集える拠点づくり

私たちは、医療的ケアの必要な人たちも対応できる福祉サービスの日常の時間と当団体でこれまで実施してきた様々なワクワクする企画のような非日常の時間の両方を詰め込んだ地域に開かれた拠点となる場を創りたいと考えています。現状を少しでも改善し、さらには社会とのつながりや文化芸術に触れられる環境をつくり、障がいがあってもなくてもいろんなひとが心豊かに暮らしていける社会の拠点となると考えています。ニコちゃんの会では、利益の一部を拠点づくりに充当しており、一日でも早い完成を目指しています。



ご支援のおねがい

ニコちゃんの会は、認定 NPO 法人です。認定 NPO 法人へ寄付をすると、寄付者は税制上の優遇措置を受けられます。わたしたちは、「今の日本に対して“変えたい”と思っている事を、国に税金として使

い道を委ねるのではなく、自分で選んだ身近な団体に直接託することができる制度」だと考えています。一人の力ではなし得ないものも、多くの心のこもったご支援が集まることで、大きなうねりとなって動き始めます。そして、はじめて良いコミュニティ、良いプロジェクトが実現できると考えています。認定 NPO 法人として活動を続けていくためには、今後も毎年 100 名以上の方のご寄付が必要となります。

わたしたちは、皆さまからいただいたご支援を、重い病気や障がいのある人とその家族の心豊かな時間につなげていきます。ひとりでも多くの笑顔のためにご支援いただけますと大変嬉しく思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

認定 NPO 法人への寄付者に対する税制上の優遇措置

※NPO 法人数 50,000 法人のうち認定・仮認定 NPO 法人数は約 1,000 法人（2018 年 6 月時点）

個人が認定 NPO 法人に寄付した場合

個人が認定 NPO 法人へ寄付をした場合は、確定申告を行うと、税金の還付を受けることができます。10,000円寄付をしたとすると、半額程度が返ってきます。

例 年間10,000円寄付した場合の控除額
 $(10,000円 - 2,000円) \times 40\%$ (所得税分) = 3,200円
 $(10,000円 - 2,000円) \times 10\%$ (住民税分) = 800円
 計4,000円が返ってくるようになります。

相続人が認定 NPO 法人に寄付をした場合

相続人が認定 NPO 法人に寄付をした場合、寄付をした相続財産が非課税になります。例えば、3億の相続財産があった場合、1億を認定 NPO 法人に寄付を行うと相続税の課税対象額は2億円になります。

法人が認定 NPO 法人に寄付をした場合

法人が寄付をした場合、認定 NPO 法人への寄付は、認定を受けていない NPO 法人への寄付と比較して、経費にできる寄付金の限度額が高くなります。下記の場合は、約4倍も多く損金扱いになります。

例 資本金1,000万円、寄付金を支払った事業年度の課税対象金額は200万円の企業が5万円の寄付をした場合

①認定 NPO 法人への寄付金の損金算入限度額
 $(1,000万円 \times 0.375\% + 200万円 \times 6.25\%) \div 2 = 81,250円$
 損金限度額=81,250円
 50,000円全額損金扱い可能

②一般の NPO 法人への寄付金の損金算入限度額
 $(1,000万円 \times 0.25\% + 200万円 \times 2.5\%) \div 4 = 18,750円$
 損金限度額=18,750円
 $50,000円 - 18,750円 = 31,250円$
 超過分の31,250円は損金になりません。

ご支援の方法

☑ クレジットカードでお支払いいただく場合

下の QR コードからクレジットカードでのお支払いの手続きに進むことができます。



下記情報を入力してください

領収書発行を希望しますか？
 希望しない
 希望する※希望する方は以下の項目に入力して下さい

認定 NPO 法人を続けていくために
 【3000 円以上の寄付】と【領収書発行】にご協力ください

「つながる募金」はシステムの調整のため一時使用できなくなっております。ご迷惑をおかけいたしますが利用再開まで今しばらくお待ちください。（2019/7/26 現在）

☑ 銀行振り込みでお支払いいただく場合

- 福岡銀行（樋井川支店 普通口座 0259591）
NPO 法人ニコちゃんの会 代表理事 森山淳子
- ゆうちょ銀行（記号 17470 番号 30874861）
NPO 法人ニコちゃんの会 理事 森山淳子

※お振込の際は必ず氏名、住所、連絡先をご連絡ください。

☑ 現金でお支払いいただく場合

スタッフに直接お申し出ください。


団体ホームページからもご寄付いただけます。
 ご不明な点は、お問い合わせください。

※上記の例は、あくまでも目安となりますので、詳しくは福岡市・税理士様にご相談ください。



 認定NPO法人ニコちゃんの会

 address 福岡市城南区樋井川6-37-8

 tel 092-863-5903

 e-mail info@nicochan.jp

 web <http://www.nicochan.jp>

nicochanism

No.06

2019年8月1日発行

発行・デザイン 認定NPO法人ニコちゃんの会



designed by nicochan